

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	事業所独自の理念を掲げながら、地域に受け入れられ、支え合う生活が出来るサービスを目指している。		今後も継続していきたい。
2	○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	運営規定に記載している。理念を常に心がけ、共有を図り毎月実施している職員会議、カンファレンス等で確認し、日々の実践に取り組んでいる。		今後も継続していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入口、スタッフルーム内等、来客者、ご家族等自由に観覧できる場所に掲示している。契約時には説明も行っている。		今後も継続していきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	洗濯干し、ゴミ捨て、散歩等で近隣の方と、あいさつ、会話を交わしている。入居者の家族、友人、職員の家族等も気軽に遊びに来られ、開放的な対応を心がけている。		今後も継続していきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	家族等の紹介により、定期、不定期とボランティアさんとの交流も多く行っている。老人会に所属されている方もおり定期的に参加されている。	○	今後はホーム外の活動を積極的に行っていきたい。
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	毎月のリーダ会議、運営会議、管理者会議等で情報収集を行っているが実践には至っていない。	○	今後は情報収集をさらにを行い、地域交流に積極的に取り組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価は運営、管理者、評価職員だけでなく全職員にも内容を把握してもらい意見を募るようにしている。		今後も継続していきたい。
8	○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度関係者を集め地域についての情報交換を行い交流を深め今後に繋げるための活動を行っている。		今後も継続していきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市役所には申請書類提出、適宜疑問、相談を行いサービスの質の向上を図っている。		今後も継続していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	資料には目を通し保管しているが、外部の勉強会や研修会への参加には至っていない。	○	勉強会、研修には積極的に参加していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。	職員会議、カンファレンス等で虐待についての話し合いは行っている。又入浴時、更衣時等身体チェックを行い理由の解らない痣、けが等があった場合には必ず看護師に報告している。	○	勉強会を積極的に行い全職員に周知徹底を行う。
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項の説明は十分行っている。疑問点があればいつでも確認してほしいと伝えている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員会議、リーダー会議などで提案、意見を聴く機会を設け反映させている。		今後も継続していきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会時、電話等で近況報告は行っている。また2～3ヶ月に1度写真を添えて手紙で報告している。		今後も継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営会議を定期的に行い、意見、苦情、不満に対する対応を迅速に行えるよう対応している。また玄関には苦情ボックスを設置し配慮している。現在のところ苦情、不満は一件もない。		今後も継続していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	リーダー会議、職員会議等で職員の提案、意見を聞く機会を設け、良いことは取り入れ、反映させる様努めている。		今後も継続していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	人員基準を守り、職員間の調整を図りながら、可能な限り勤務調整を行っている。		今後も継続していきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	開設して1年半経過し、職員と入居者との信頼関係が構築されている。人員の異動も多少あるが入居者の動揺を最小限に抑えるよう配慮している。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者、リーダーと連携を図り外部研修の情報収集を行い職員の参加を促している。		現在実施中である。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	2ヶ月に一度の割合で市内の管理者、ケアマネと勉強会、情報交換を行い質の向上は図っているが、職員の参加、相互訪問は実施されていない。		今後は職員の参加、相互訪問等行っていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休日にリフレッシュできるよう職員の希望休はできるだけ叶えるようにしている。日勤帯、夜間帯共休憩時間が確保できるよう配慮している。		今後も継続していきたい。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	仕事に対する心構え、悩み、取り組み方の相談を受けながら、職員との会話の中で状況を把握しアドバイスをを行うこと、研修、勉強会等に参加することにより向上心が持てるよう努めている。		今後も継続していきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	初期面談時より本人の困りごと、不安な事、心配事等を聞き対応している。		今後も継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	初回面談時に家族の話をよく聞き、都度家族との対応に努めている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族や入居者のお話を聞き、本人の希望や意向を重視し、日常生活の中で今一番必要な事は何かを把握しケアプランに取り入れてくる。		今後も継続していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前のホーム見学、一日体験等家族、本人の希望に応じ行っている。		今後も継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	生活の場がホームであり、入居者のペースや状況に応じた対応をしている。入居者も生活の中で役割があり、出来ることへの向上につながっている。入居者から学び支えあう関係を築いている。		今後も継続していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	入居者本人が穏やかに安心して過ごせるよう家族に面会の際は伝えたり、遠方で来られない家族には手紙や電話にて連絡をとり一緒に本人を支えるよう関係を築いている。		今後も継続していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居者と家族との調整を適宜行い相談援助の支援を行うことにより、家族とのよりよい関係を築いている。		今後も継続していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人や馴染みの場所、サークル等に参加したり、初回面談のときに確認し、入居後も入居前と同じような環境を継続するよう支援している。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	日々の生活の中で、入居者同士の人間関係を把握し、コミュニケーションを取るのが苦手な方には、他入居者と関わりあえるよう職員が間に入り孤立しないよう努めている。		今後も継続していきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去された場合でも家族の方がいつでも遊びに来られるよう配慮している。玄関先の花壇には退去された家族の方が季節に合わせたお花を持参されている。		今後も継続していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々入居者の話に耳を傾け、希望、意向の把握に努めている。また意思疎通の図れない方には本人の意向を職員と検討し把握している。		今後も継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居にあたり、カンファレンスを行い入居される方の情報、状態を周知徹底している。		今後も継続していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	普段の生活の中で一日の過ごし方、身体状況を把握し変化等が見られた場合は、看護師、職員間で情報の確認を行い把握に努めている。		今後も継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員の管理のもと、入居者、家族、職員、看護師と日々の生活の中で常に話し合いを行い、介護計画を作成している。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の期間に関係なく、状態変化、プランの見直し等が生じた場合は本人、家族等と話し合い新たに作成している。		今後も継続していきたい。
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	入居者の生活の中での変化、生活状況等は個別日誌に記録し職員間で状況を共有しながらケアプラン、日々のケアに活かしている。		今後も継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者、家族の希望を尊重し事業所の経営理念に基づき、柔軟な支援をしている。		今後も継続していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	家族の同意を得て入居者が外に出て行った場合は、警察、消防、民生委員等に支援をお願いしている。		今後も継続していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービス利用というのはほとんどないが必要性があれば支援していきたい。		今後も継続していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	包括職員とは常に連絡をとれる体制になっている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	連携している病院があり、定期的受診の通院援助、急変時は看護師、主治医と相談し、日常の健康管理を行っている。市外の通院は家族が行っている。		今後も継続していきたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	精神科専門の病院と連携をとり、適切な診断や治療が受けられるよう支援している。		今後も継続していきたい。
45	○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を確保していて、日常の健康管理、通院援助、医療機関との連携を行っている。又気軽に相談や助言ができる体制をとっている。		今後も継続していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院中、本人の状態の確認、面会に行き、看護師、医師、病院関係者との情報交換を行い連携に努めている。		今後も継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合、今後の方針について看護師、医師と連携をとり、家族と相談しながら決めている。		今後も継続していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度や終末期の入居者に対し、本人の要望にこたえるよう努め、無理なく本人のペースで生活できるよう支援していく。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	グループホームが生活の場であり、住み替えがあるとしたら、入院又は他の施設に移るという事になるが、その時は病院、他の施設、家族間で十分に話し合い、情報交換を行うようにしている。		今後も継続していきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	一人ひとりの性格を把握し、本人の誇りやプライバシーを損ねないよう尊重し、声かけを行っている。契約時は個人情報の使用同意を作成し、家族や入居者に理解してもらっている。		今後も継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	日常の生活の中で本人の気持ちを聞き、本人の自己決定を優先にするようにし、認知症の進んでいる方にも何度も説明をし納得してもらえるよう支援する。		今後も継続していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今まで生活してきた習慣を大切に、本人のペースに合った生活が送れるよう支援している。		今後も継続していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	美容については月2回近くの美容師さんが来訪し、本人の希望に応じてカット、パーマ毛染め等を行っている。なじみの店を希望の場合については家族、職員で対応している。		今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は外注になっているが、本人の嫌いなものは代替えで対応している。また検食を行い入居者の意見、感想を聞き、月1回の給食会議で報告し検討している。毎日の食事作りはないが、おやつの時など手作りにするよう心がけている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	現在喫煙者はいないが所定の喫煙場所の設置を行っている。友達同士で晩酌を楽しんでいる入居者もいる。		今後も継続していきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄パターンの把握に努め声掛け、促しによりトイレで排泄できるよう支援している。現在トイレ誘導を行っている方は3名、オムツを使用している方はいない。		今後も継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴は原則24時間可能となっている。本人の希望をできるだけ取り入れて入浴を行っている。		今後も継続していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	グループホームは全室個室のため、自由に安眠、休息を取ることができる。		今後も継続していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日常の家事全般は入居者と行い役割を持っている。男性入居者にはゴミ捨て、家具の移動等介護員と行っている。また、夏は畑作り、花壇の手入れ冬は雪かきと本人の生活歴、力が発揮できるよう支援している。ドライブ、散歩、買い物、コンサート等の外出、張り絵、トランプ、カラオケ、音楽、ゲーム等のホーム内での楽しみも本人の要望、希望をできるだけ叶えるよう支援している。		今後も継続していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現金を自己管理している入居者もいるが、ホームでの預かりの方は必要時職員見守りの中、使用できるよう支援している。ホーム内の自動販売機で本人がジュースを買う事もある。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気、体調など配慮し、一人ひとりに応じて散歩、買い物、ドライブ等外出できるよう支援している。		今後も継続していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	行事は季節に合わせて企画し、入居者の行きたい場所を考慮している。誕生日には本人の行きたい所(生まれ故郷、温泉、映画館、水族館等)個別で出かけている。家族にも声掛けを行い一緒に出かけられるよう支援している。		今後も継続していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持っている方は自由に使用している。電話を受けることはあるが、自らかけたいという要望が少ないので必要時は職員がかけている。ハガキを書き送る方もいる。しかし家族、友人からはがきが届いて読む事は可能でも、返事を書くことは難しい。		手紙、はがきのやり取りを行えるよう支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	常時家族、知人、友人等がいつでも訪問できるように面会の時間は設けてはいない。		今後も継続していきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしないというケアで職員一同統一している。		今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関の鍵はかけていない。居室の鍵は本人が中からかけている。職員から鍵をかけることは無い。職員全員理解している。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼 夜通して利用者の所在や様子を把握し、安 全に配慮している。	本人の状態観察を行いながら、配慮が必要な方は所在確認を行っている。		今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防 ぐ取り組みをしている。	果物ナイフや彫刻等、ハサミ等自宅に置いている方もいるが、スタッフが付き添い、 見守りのもと使用している。		今後も継続していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に 応じた事故防止に取り組んでいる。	外部研修参加または会議の時に研修を行っている。カンファレンスを定期的に行 い、一人一人の状態に応じた事故防止策を話し合いを行い統一している。		今後も継続していきたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全 ての職員が応急手当や初期対応の訓練を 定期的に行っている。	急変時、事故発生時マニュアルを作成し、確認している。また、全スタッフが救命講 習を受けている。		今後も継続していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を 問わず利用者が避難できる方法を身ににつ け、日ごろより地域の人々の協力を得られ るよう働きかけている。	マニュアルを作成し、会議で確認している。防災訓練は毎年2回入居者と一緒に 行っている。		今後も継続していきたい。
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家 族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切 にした対応策を話し合っている。	本人本位の生活の継続、支援を行うため日々家族への説明、報告、相談を行って いる。		今後も継続していきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調変化や異変が見られた場合は看護師、職員、家族で情報を共有し、場合によっては緊急受信等で対応していく。		今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は薬の説明を読み、内容の把握をするように努めている。また、状態変化により、薬が変更になった場合は、看護師により、報告、説明を受け、職員に伝えている。		今後も継続していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	お茶等を自由に飲めるようにカウンターに置き、声かけを行うなどの支援を行っている。また外出、散歩、体操などの体を行うなどを行い予防を行っている。		今後も継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人ひとりに合わせた声かけ、介助を行っている。		今後も継続していきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分摂取は一人一人の嗜好にを考慮し、必ず本人に確認し、飲みたいものを提供している。食事は外注だが、栄養バランスを考慮し、栄養士が献立を作成し厨房で作っている。		今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出後食事前は必ず手の消毒・うがいを行っている。また、面会の方にもお願いしている。		今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食事は外注になっているが、アレルギーや服薬の関係、本人の嗜好に応じて代用食も可能である。2か月に1度は検食として入居者の施行や味付けなどの批評を行っている。また、本人が配膳可能な場合は下膳も行ってもらっている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前には入居者、家族の持参された植木、花などを置き、玄関の扉はガラス張り で解放感があり面会者が気楽に立ち寄れるよう工夫している。		今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	南に面している窓からは外の景色、人通りも見え木々の変化、服装の変化により季節感を感じることができる。リビングには季節に応じた張り絵、小物、またソファーにはクッションを置き居心地良く過ごせるよう工夫している。		今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ユニットごとにソファを置き、気の合う者同士や、一人でテレビを見たい場合は一人で鑑賞を行うなど、入居者の思い通りに過ごせるよう工夫している。		今後も継続していきたい。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際は本人、家族と相談し使い慣れたもの、なじみの物、趣味で作られたものなど持参されるようお願いしている。		今後も継続していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度計、湿度計により確認を行っている。その他、窓の開閉により換気を行っている。		今後も継続していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー構造で自由に歩行できるよう工夫されている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	日々の生活の中で解ること、出来ること、嫌いな事等をどのくらいの支援で出来るのか又出来ないのかを職員全員で認識しケアを統一している。		今後も継続していきたい。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	焼肉、花火、夕涼みなどを玄関を使い実施している。ベンチを置き入居者の憩いの場になっている。		今後も継続していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2／3くらい ③ 利用者の1／3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2／3くらい ③ 家族の1／3くらい ④ ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	① ほぼ全ての職員が ② 職員の2／3くらいが ③ 職員の1／3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2／3くらいが ③ 利用者の1／3くらいが ④ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2／3くらいが ③ 家族等の1／3くらいが ④ ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載）